

れんごう

2014. 5. 14
第 6 号 通算 191 号
日本労働組合総連合会新潟県連合会
県央地域協議会
(連合県央地協)
〒955-0044 三条市田島2丁目22-36
TEL 0256-32-6363 Fax0256-32-6490



晴れた五月の青空に 第85回メーデー県央3地区で開催



県央エリアの3地区(西蒲燕・三条・加茂地区)は、第85回メーデーを例年通り、5月1日(木)に「ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)」をテーマに開催し、会場内で東日本大震災遺児募金(あしなが育英会)やアトラクションなど、それぞれが工夫を凝らして実施しました。

『三条地区メーデー』

9:00～「三条市総合体育館」脇の道路に約600名が整列して行進をスタート。その後、体育館を会場に式典を開催し、宮口実行委員長は、「私たちはこれまでメーデーで『働く者の権利を守ろう!』『戦争や紛争のない真の世界な平和をつくろう!』と訴えてきました。第85回メーデーのテーマは【ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)】です。働けることの喜びを受け止め、働くことを通して、生活を支え、地域を支えていきましょう!」と呼び掛けました。

国定三条市長は、「景気回復が実感できる市政を実行し、地場産業の活性化施策を展開し“三条のものづくり”を支えていく。みなさんといっしょに三条から元気を発信していきましょう!」と連帯の挨拶。民主党菊田代議士は、自民党政権下で労働法制が改悪されようとしている強引な国会運営の現状などに触れ、社民党三条支部協議会有坂代



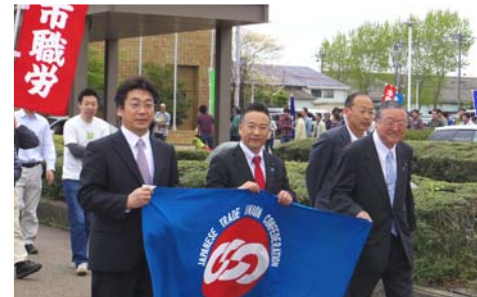
表は、集团的自衛権行使などについて、続いて労働金庫、総合生協からも祝辞を受けました。特別決議、メーデー宣言を全体で確認し、団結ガンバローで締めくくりました。

第3部のアトラクションは「いからし工房」のみなさんの太鼓演奏、震災復興支援物販、いからし工房、ともしび工房の即売会、大抽選会をおこないました。

『西蒲・燕地区メーデー』

西蒲燕地区メーデーを吉田産業会館で開催し、約200名が参加しました。海津実行委員長は「労働者の祭典であるメーデーが第85回となった。地域で額に汗して働き、暮らすすべての人と心をひとつにし、支えあい、平和を希求するきっかけにしたい」「県央地場の景気回復の実感にはバラツキがあり、個人生活も物価高騰や消費税増税など不透明感が高い」「安心して働き続けられる社会をつかっていこう!労働組合が必要」と挨拶しました。

鈴木燕市長から「日本一輝いているまち燕市をめざしている。産業の活性化は地域の活力となる。みなさんと連携を深めたい」と挨拶があり、続いて、民主党を代表して鷲尾代議士、社民党から竹内新潟市議、労金、生協など各団体の方々から祝辞を受けた後、労働者保護ルール改悪反対の特別決議、メーデー宣言を確認し、団結ガンバローで締めくくり、デモ行進を行いました。



『加茂地区メーデー』

加茂地区メーデーは、加茂市民体育館に200名近くが集まり開催しました。中山実行委員長は「景気回復は、地域の隅々までしっかりとお金が回らなければ実感はない」「これ以上、不安定な非正規雇用を増やしてはならない。働く者の尊厳を守ろう!」と挨拶しました。小池加茂市長から「自民党政権下、軍国主義化が鮮明となり危険きわまりない。国民、生活者、まず労働組合も奮起すべき」との挨拶がありました。次に菊田代議士をはじめとする、各政党代表の方々から祝辞を受け、メーデー宣言、特別決議の採択をしました。

講演会として(三条市 ガレージ1)主宰の水科江利子さんによる『笑おう!ほぐそう!心と体元氣と幸せを創る心と体のセルフメンテナンス』があり、抽選会、最後にデモ行進を行いました。



くいからし工房の太鼓演奏>



《メーデー東日本大震災遺児募金「あしなが育英会」募金

・三条地区メーデー 21,616円 ・西蒲燕地区メーデー 16,098円
 あたたかいご支援ありがとうございました。早々に振り込み手続きをいたします。

《メーデー花の種1等県央地区2単組がゲット》

・賞品は「労福協友好の旅（トルコ・イスタンブール5日間の旅）」です。
 ①三星金属工業労組 ②J P 労組西蒲原支部のみなさんおめでとうございます。
 尚、2等、3等の賞品（イオン、コメリ、ムサシの商品券）は当該単組に早々にお届けいたします。



三条市議会議員選挙 連合推薦 3名全員当選

三条市議会議員選挙は、4月20日（日）告示、27日（日）投開票の日程で行われ、連合推薦の3候補（杉井 旬候補、藤田 博史候補、酒井 健候補）の全員当選となりました。今後は、三条市政において、連合のすすめる「働くことを軸とする安心社会」「誰もが安心して暮らせるまちづくり」「地域の活性化」などの課題に協力して取り組まれることを期待し連携してまいります。これまでの各候補へのご支援、本当にありがとうございました。

《三条市議会議員選挙 結果》

杉井 旬 1,935票 藤田 博史 1,334票 酒井 健 2,231票



当選 3期



当選 2期



当選 1期

お知らせ

●アジア・アフリカ救援米 田植え

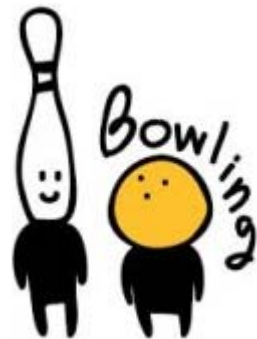
・日 時 5月 17日（土）9：00～
 参加人数の不足が予想されます。ぜひ奮って参加下さい。（ご家族、子供さんも）

●青年女性委員会主催 スポーツ交流会

・日 時 6月 27日（金）19：00～
 ボウリング大会 POPボウル県央
 18：30受付 19：00～21：00
 終了後懇親会「ごん蔵」4,000円
 参加者募集中6／6 締切

●連合県央地協 第25回地協委員会

・6月下旬、7月上旬の平日18：15開催を予定しています。



**労働者保護ルール
改悪を許すな!**

労働者を踏み台にするのは許さない!

「安倍政権は、金持ち経営者ばかり集めて、当事者である労働者の意見をいっさい聴かずに、労働者をクビにしやすくする方法などを勝手に決めようとしています。」



“クビにされやすい正社員(「限定正社員」)”は許さない!

安倍政権は、勤務地や仕事内容が限定された働き方をする人を「限定正社員」と名付け、そうした人をクビにしやすくするルールを作ろうとしています。

⇒ **こんなルールができると**

会社が勝手に勤務地（職場）や仕事を無くしたうえで「限定正社員」として働く人をクビにしても、文句ひとつ言えなくなります。自分の希望にあった働き方が可能になる制度にも見えますが、「クビにされやすい正社員」となってしまうリスクも大きいのです。

“クビ切り自由化”は許さない!

安倍政権は、たとえ「クビは無効！」と裁判で労働者が勝っても、会社がお金さえ支払えばその労働者をクビにできる仕組みを作ろうとしています。

⇒ **こんな仕組みができると**

不当にクビにされていた労働者は、裁判に勝ったのだから元の職場に戻れて当然。しかし、本人がどれほど職場復帰を望んでも、会社がお金さえ支払えば、結局、クビになってしまいます。労働者の気持ちはまったく無視される、とても理不尽な仕組みです。

“残業代不払い制度”の導入は許さない!

安倍政権は、何時間残業させても会社は残業代をまったく支払わなくてOKとする「ホワイトカラー・イグゼンプション」という制度を導入しようとしています。

⇒ **こんな制度ができると**

労働者はどれだけ長時間の残業をしても、残業代を受け取ることができなくなってしまいます。「ただ働き」となるうえに、長時間労働にも拍車がかかることでしょう。ワーク・ライフ・バランスをまったく無視した制度です。